

教科の重点 【 国 語 】 科 〈読むこと〉

習得した言語事項を用いて自分の思いを表現する授業の創造						
	【指導の重点】	【○主となる単元・主要教材】			【生きて働く言葉の力を育てる活動】	
		説明的な文章		文学的な文章		
		感想・自分の意見	説明のしかた	紹介・推薦	感想・自分の考え	{ 具体的場面 }
小6	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。 自分の伝えたいことを的確に伝えるための方法を考えながら目的や意図に応じて表現する。 考えを広げたり深めたりしながら読書する。 	○自分の考えをもとう 「感情」「生き物はつながりの中に」 ↑↑	○ものの見方を広げよう 「『鳥獣戯画』を読む」 ↑↑	○作品の世界を深く味わおう 「やまなし」 ↑↑	○物語を読んで考えを深めよう 「海の命」 ↑↑	研究報告文、鑑賞文、推薦文、意見文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて目的や意図に応じて表現する。また科学的な読み物、鑑賞文、同一作者の本、テーマに合わせた本等を自分の考えを広げたり深めたりしながら読む。
小5	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 自分の伝えたいことの中心を考えながら相手や目的に応じて表現する。 幅広く読書する。 	○筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表しよう 「見立てる」「生き物は円柱形」 ↑↑	○説明のしかたについて考えよう 「天気を予想する」 ↑↑	○伝記を読んで自分の生き方について考えよう 「百年後のふるさとを守る」 ↑↑	○物語を読んで自分の考えをまとめよう 「わらぐつの中の神様」 ↑↑	研究報告文、気象に関する説明文、統計、伝記、鑑賞文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて目的や意図に応じて表現する。また、科学的な読み物、統計資料、伝記、同一作者の本等を自分の考えを広げたり深めたりしながら読む。
小4	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 自分の伝えたいことの中心を考えながら相手や目的に応じて表現する。 幅広く読書する。 	○自分の考えをまとめよう 「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」 ↑↑	○説明のしかたについて考えよう 「アップとルーズで伝える」 ↑↑	○物語を読みましょうかいしよう 「一つの花」 ↑↑	○読んで考えたことを話し合おう 「ごんぎつね」 ↑↑	研究報告文、情報メディアについての説明文、紹介文、続き話、日記文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて伝えたいことの中心に気を付けて表現する。また、ドキュメンタリー、戦争文学、同一作者の本等幅広く読書する。
小3	<ul style="list-style-type: none"> 書かれている事柄の順序や場面の様子について気づいたり、想像を広げたりしながら読む。 自分の伝えたいことについて順序を考えながら相手に応じて表現する。 読書を楽しむ。 	○かんそうをもとう 「イルカのねむり方」「ありの行列」 ↑↑	○せつめいのしかたを考えよう 「すがたをかえる大豆」 ↑↑	○考えたことを発表しよう 「海をかつとばせ」 ↑↑	○物語の感想をまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」 ↑↑	観察報告文、食べ物についての説明文、日記文、手紙文、感想文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて伝えたいことの中心に気を付けて表現する。また、科学的な読み物、食物に関する本、ファンタジー戦争文学等幅広く読書する。
小2	<ul style="list-style-type: none"> 書かれている事柄の順序や場面の様子について気づいたり、想像を広げたりしながら読む。 自分の伝えたいことについて順序を考えながら相手に応じて表現する。 読書を楽しむ。 	○わかったことをまとめよう 「たんぼのちえ」 ↑↑	○せつめいのしかたを考えよう 「しかけカードの作り方」 ↑↑	○読んだお話をしようかしよう 「スーホの白い馬」 ↑↑	○感想を書こう 「スイミー」 ↑↑	観察報告文、工作手順の説明文、外国の昔話の紹介、感想等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて順序に気を付けて表現する。また、図鑑、工作の本、民話、昔話、同一作者の本などを楽しく読む。
小1	<ul style="list-style-type: none"> 書かれている事柄の順序や場面の様子について気づいたり、想像を広げたりしながら読む。 自分の伝えたいことについて順序を考えながら相手に応じて表現する。 読書を楽しむ。 	○みんなでよもう 「みいつけた」 ↑↑	○くらべてよもう 「じどうしゃくらべ」 ↑↑	○ふしぎなせかいをしようかしよう 「くじらぐも」 ↑↑	○おはなしをたのしもう 「たぬきの糸車」 ↑↑	経験報告文、比べて読む、ファンタジーの紹介、感想等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて順序に気を付けて表現する。また、ファンタジー、図鑑、乗り物の本、昔話などを楽しく読む。

《表現を支える言語事項の積み上げ》

※各単元で重点化して指導する言語事項を明らかにして指導に生かす。

※家庭学習、スキル学習を通し、表現活動に生かせるようにする。

習得した言語事項を用いて自分の思いを表現する授業の創造						
	【指導の重点】	【○主となる単元・主要教材】				【生きて働く言葉の力を育てる活動】
		説明的な文章		文学的な文章		
		感想・自分の意見	説明のしかた	紹介・推薦	感想・自分の考え	{具体的場面}
中三	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図の応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む。 読書を通して自己を向上させる。 	○読む(吟味・判断) 「テクノロジーとの付き合い方」「テクノロジーと人間らしさ」	○読む(構成・展開) 「絶滅の意味」	○読む(文学一) 「風の唄」	○読む(文学二) 「故郷」	研究報告文、鑑賞文、推薦文、意見文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて目的や意図に応じて表現する。また科学的な読み物、鑑賞文、同一作者の本等のテーマに合わせた本を読み、人間、社会、自然などについて考え、自分の考えをもちながら読む。
中二	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む。 広い範囲から情報を集め、効果的に活用する。 読書を生活に役立てる。 	○読む(吟味・判断) 「恥ずかしい話」	○読む(構成・展開) 「食の世界遺産ー鯉節」	○読む(文学一) 「卒業ホームラン」	○読む(文学二) 「走れメロス」	研究報告文、鑑賞文、推薦文、意見文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて目的や意図に応じて表現する。また科学的な読み物、鑑賞文、同一作者の本等のテーマに合わせた本を読み、自分のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考え方をもちながら読む。
中一	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じ、様々な本や文章を読み、内容や要旨を的確にとらえる。 読書を通してものの見方や考え方を広げる。 	○読む(吟味・判断) 「脳の働きを目で見てみよう」	○読む(構成・展開) 「オオカミを見る目」	○読む(文学一) 「さんちき」	○読む(文学二) 「少年の日の思い出」	研究報告文、鑑賞文、推薦文、意見文等を取り上げ、表現様式の特徴に合わせて目的や意図に応じて表現する。また科学的な読み物、鑑賞文、同一作者の本等のテーマに合わせた本を読み、文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げながら読む。